

平成30年度 第15回倫理審査委員会

開催日時：平成30年10月25日（木）14：00～15：00

開催場所：国立成育医療研究センター研究所2F セミナールーム

出席委員：斎藤委員長、奥山副委員長、五十子委員、小野寺委員、神里委員、
小林委員、瀧本委員、松本委員、松谷委員、村島委員

審議課題数：36件（承認31件、条件付承認4件、継続審査1件）

受付番号 1918：精神運動発達遅滞を伴う糖原病 IX 型で *de novo* の 14q32 重複を同定した一例についての考察（迅速審査）

◆ 申請者：池乗 愛依

◆ 申請の概要

糖原病の診療ガイドラインが周知され、糖原病の早期発見や、幼児期の低血糖発作に対する治療が確立された現在、糖原病 IX 型による精神運動発達遅滞の合併は少ない。血糖コントロールが良好な兄弟症例において、*de novo* 14q32 重複により弟にのみ精神運動発達遅滞を合併した症例について考察する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1934：小児における尿路性菌血症の臨床的特徴についての検討（迅速審査）

◆ 申請者：橋本 梨沙

◆ 申請の概要

尿路性菌血症とは、尿路感染症を契機として全身性に血流感染を起こし生命を脅かす病態で、初期からの適正な抗菌薬での治療が重要です。しかしその臨床像についての検討は十分行われておらず、それに関する情報は限られているのが現状です。そこで今回、小児の尿路性菌血症の症例について診療録情報を振り返り、その臨床像について検討します。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1937：小児喉頭微細手術や喉頭ファイバー検査に対する非挿管自発呼吸下麻酔管理（迅速審査）

◆ 申請者：澤井 真優子

◆ 申請の概要

小児の喉頭手術や喉頭ファイバー検査において非挿管自発呼吸温存下の麻酔管理は良好な視野を確保し喉頭の生理的な観察ができるため有用と考えられるが、低酸素血症や喉頭痙攣などの合併症リスクが高く麻酔方法は定まっていない。当院で小児の喉頭微細手術または直達鏡下喉頭ファイバー検査を施行された患者のうち、非挿管自発呼吸温存下に麻酔管理を行った8症例の周術期管理について後方視的に調査し、麻酔方法について考察した。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1938 : 頭蓋縫合早期癒合症に対する2方向頭蓋骨延長における頭蓋内容積の解析(迅速審査)

◆ 申請者：宮森 悠希

◆ 申請の概要

頭蓋縫合早期癒合症の治療における2方向頭蓋骨延長が1方向の延長と比べて頭蓋内容積と頭蓋形態の両方において優れているかどうかを定量的に評価する。2方向頭蓋骨延長を行った患者の手術前後の頭部 CT データより頭蓋内容積の変化量を算出し、1方向延長における頭蓋内容積の変化量と比較する。同じ量の頭蓋内容積の増大を得られるまでの1方向頭蓋骨延長をシミュレーションし、頭蓋形態の変化を3次元的に評価する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1940 : 小児における左房ストレインと左室心筋肥大の関連(迅速審査)

◆ 申請者：林 泰佑

◆ 申請の概要

『当院で心エコー検査を受けた患者さんの心エコー検査データやカルテを解析して、左房ストレインという心エコー計測値の臨床的な意義を調べる研究です。左房ストレインは、血液が充満するとき左心房がふくらむ速さのことで、心臓の機能をあらわす新しい指標として注目されています。』

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1944 : 医療型短期滞在施設における未就学児の集団日中活動に関する保育士の役割—集団日中活動の具体的場面を中心に—(迅速審査)

◆ 申請者：犬塚 陽子

◆ 申請の概要

濃厚な医療ケアを必要とする未就学児が、もみじの家で医療ケアを受けながら、集団日中活動に参加することによる影響を明らかにする。保育士を中心とする福祉職による言葉かけや身振りの代弁行為や他者とをつなぐ橋渡し、児の心理的・身体的変化や、成長発達とその後の就学に向けてどのような影響を与えるかを検討することで、医療型短期入所施設における保育士らの今後の活動の一助となる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1945 : Disease-Specific Dose Estimate (DSDE) ;有効直径を考慮した体重ベースプロトコルの検討(迅速審査)

◆ 申請者：今井 瑠美

◆ 申請の概要

肝芽腫や胆道閉鎖肝移植術前の患者は体重に対して腹部の有効径が大きい傾向にある。当センターの体幹部の撮影条件は体重をベースにしており、通常使用している撮影条件にて検査を行った場合に画像ノイズが多いため読影、診断に影響を及ぼす恐れがある。そのため、最適な線量を推定する必要がある。本研究では上述の症例にお

る画像ノイズの原因や最適な撮影条件を探ることを目的とする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1946：腫瘍の自然退縮を認めた神経皮膚黒色症の1例（自然退縮を認めた proliferative nodules を伴った神経皮膚黒皮症）（迅速審査）

◆ 申請者：持丸 奈央子

◆ 申請の概要

神経皮膚黒色症は高率に悪性皮膚腫瘍を合併する事が知られている。今回生後間もなくより背部腫瘍が出現し悪性が疑われたが、生検により悪性所見を否定、慎重に経過観察したところ自然退縮した症例を経験した。今後、本症の治療方針決定に有用な情報となり得るため、過去の文献を参考に病理的所見、悪性腫瘍との鑑別等について考察する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1947：SASH1変異を認めた多発性黒子の1例（迅速審査）

◆ 申請者：持丸 奈央子

◆ 申請の概要

SASH1 は多発性黒子や遺伝性汎発性色素異常症などの原因遺伝子として最近注目を受けている。我々は SASH1 の新規変異を発見した。今後の色素異常症の診断に有用な情報となりうる。して過去の文献的考察を加え診断までの過程などについて検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1948：有病小児における乳歯感染根管治療もしくは抜歯の実施経緯に関する調査研究（迅速審査）

◆ 申請者：齋藤 亮

◆ 申請の概要

小児歯科医療の充実から、乳歯のう蝕予防や早期治療がなされていますが、治療後に何らかの原因で再治療になり、不幸にも感染根管治療になる症例も多々経験します。有病小児では、健常小児と比べて、一段階先の治療法（例えば、抜歯）を選択せざるを得ない状況です。本研究の目的は、う蝕治療後に再治療になった症例から、その原因と経過を分析し、有病小児において感染根管治療・抜歯を避ける手段はないか検討することです。

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認めるので、以下の点について回答書を提出すること。

〈1〉人を対象とする医学系研究に用いられる研究情報の取扱いに関する指針に基づき、成育医療研究センターでの身分を有しなければ、成育医療研究センターでの研究を実施することができないため、平成30年11月1日以降の成育医療研究センターでの所属を明記すること。

◆ 判定：継続審査

受付番号 1949 : 癒着胎盤のリスク因子に関する研究 (迅速審査)

- ◆ 申請者：小川 浩平
- ◆ 申請の概要
本研究は 2003 年 1 月から 2017 年 12 月までの 15 年間、日本で出生した児を対象とした研究です。周産期登録データベースの情報をもとに、妊婦さんの癒着胎盤のリスク因子を調査する後方視的疫学研究となります。使用するデータベースは日本産科婦人科学会周産期委員会が所持する既存データベースであり、研究の公表や個人の研究参加の撤回権も日本産科婦人科学会によって行われます。個人情報には直ちに判別できない状態で使用されます。
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。
- ◆ 判定：承認

受付番号 1952 : 救急撮影のコツとポイントについて (迅速審査)

- ◆ 申請者：木村 恭彦
- ◆ 申請の概要
診療放射線技師が救急検査の依頼に迅速適切な検査が行えるようにするためには、当院の今までの小児の撮影法や画像の特徴についての実績を検討することは、一般病院では小児救急撮影の症例が少ないことより、役立てられる可能性があると考えます。
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。
- ◆ 判定：承認

受付番号 1958 : 循環器領域における思春期小児に対するアドバンス・ケア・プランニングの現状と障壁に関するアンケート調査 (迅速審査)

- ◆ 申請者：余谷 暢之
- ◆ 申請の概要
- ◆ 我々はこれまでわが国における小児の ACP に関する調査として、小児血液疾患、小児神経疾患を有する思春期患者の ACP の現状について報告を行ってきた。循環器領域においても、治癒が見込めず長期生存が望めないと考えられる疾患を有する患者は増加しており、循環器領域における ACP の現状を明らかにすることは重要であると考えます。
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。
- ◆ 判定：承認

受付番号 1959 : 小児整形外科手術 (上肢) における疾患別の術後 PCA の使用状況についての後方視的研究 (迅速審査)

- ◆ 申請者：山本 偉
- ◆ 申請の概要
2015 年 3 月から 2018 年 2 月までに当院にて上肢の整形外科手術を受けた 1~12 歳までの患者のうちモルヒネを用いた PCA (持続投与 $10 \mu\text{g}/\text{kg}/\text{時}$, ボーラス量 $10 \mu\text{g}/\text{kg}$, ロックアウト時間 7 分) による術後疼痛管理を受けた患者を対象に、PCA の使用状況を後方視的に調べる。調べた PCA の単位時間あたりのモルヒネ消費量および PCA 使用期間から、各手術術後の疼痛の程度を評価する。この結果を参考に今後術後疼痛への対応を検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1960：警戒心やこだわりが強く介入に難渋した小児悪性脳腫瘍の一症例（迅速審査）

◆ 申請者：峯 耕太郎

◆ 申請の概要

小児のリハビリテーションにおいては、遊びを介して発達促進や機能維持・向上を図ることが多い。一方で、治療の副作用や発達特性等により、介入を円滑に進められないケースも経験する。今回、介入に難渋した小児悪性脳腫瘍の一症例を振り返り、発達特性を有する長期入院児に対するより良い関わり方や介入方法を検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1961：ニューキノロン系抗菌薬耐性ムコイド型溶血性連鎖球菌による中耳炎・乳突蜂巣炎の1例に関する検討（迅速審査）

◆ 申請者：橋本 梨沙

◆ 申請の概要

当院で入院加療したニューキノロン系抗菌薬耐性ムコイド型溶血性連鎖球菌による中耳炎・乳突蜂巣炎の1例について医療情報を抽出し後方視的に検討します。また、同様の症例に関する既報告について literature review を行い、症例の共通点・相違点や、治療法等、抗菌薬の適正使用について検討します。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1963：リハビリ拒否が長期化した急性骨髄性白血病男児への作業療法の関わり（迅速審査）

◆ 申請者：柳澤 いずみ

◆ 申請の概要

リハビリへの拒否が長期化し、希望の聴取や目標共有に難渋した症例の、作業療法での工夫を振り返り考察する。2017年7月～2018年9月までに当センターで入院加療した急性骨髄性白血病の1例について、性別・年齢・診断名・現病歴・入院経過・リハビリ記録・看護記録・医師記録等を診療録より抽出し、作業療法の経過やリハビリ参加への工夫について後方視的に検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1965：メチルマロン酸血症の治療中に腸性肢端皮膚炎様皮疹を呈した1例（迅速審査）

◆ 申請者：安田 葉月

◆ 申請の概要

メチルマロン酸血症のためアミノ酸調整治療用特殊ミルクと高度のタンパク制限にて治療開始されてから、口囲・外陰部にびらん・鱗屑を伴う紅斑が出現し腸性肢端皮

膚炎様皮疹を呈した症例を経験した。普通ミルクによる栄養を追加したところ皮疹は急速に消退した。今後、メチルマロン酸血症の治療を行うにあたって有用な情報となり得るため、過去の文献を参考に考察を交えて検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1966：移植後に慢性呼吸不全となった乳児白血病の1症例～在宅生活へむけた作業療法～（迅速審査）

◆ 申請者：松井 直子

◆ 申請の概要

当院では小児がん患者に対する多職種による集学的治療を実践している。今回、2度の造血幹細胞移植により第二寛解を得たが、血栓性微小血管障害による慢性呼吸不全に対して人工呼吸器管理で長期入院となった症例を経験した。本症例を通し、小児がんに対する作業療法アプローチや多職種連携の意義について経過を振り返り考察する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 552：免疫機能異常症における遺伝的要因の探索（迅速審査）

◆ 申請者：小野寺 雅史

◆ 申請の概要

2012年3月13日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 926：肥厚性皮膚骨膜炎患者と非特異性多発性小腸潰瘍症患者における臨床症状のアンケート調査研究（迅速審査）

◆ 申請者：松原 洋一

◆ 申請の概要

2015年6月2日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1736：好酸球性胃腸炎、食道炎の全国有病率調査（迅速審査）

◆ 申請者：野村 伊知郎

◆ 申請の概要

2018年2月7日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1916：腸管出血性大腸菌感染症に続発する溶血性尿毒症症候群の発症・予

後規定因子の検討と医療体制整備の構築のためのパイロット研究（迅速審査）

- ◆ 申請者：五十嵐 隆
- ◆ 申請の概要
腸管出血性大腸菌感染症は急性の下痢症をきたし、5-10%は菌が産生する毒素により溶血性尿毒症症候群（HUS）や重篤な脳症をきたす予後不良疾患であるが、最適な診療については不明な点が多い。本研究では、感染症法に基づき第3種感染症として世田谷区保健所に届け出られた腸管出血性大腸菌感染症例を活用して観察研究を行い、全国調査に先立つ予備検討を行う。最終的には、HUS発症のリスク因子及びHUS発症例に提供された医療の妥当性について全国レベルで検討する。
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。
- ◆ 判定：承認

受付番号1924：尿中、唾液中脂質濃度の食物アレルギー診断バイオマーカーとしての有用性評価（迅速審査）

- ◆ 申請者：犬塚 祐介
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。
- ◆ 判定：承認

受付番号1939：小児神経症候学入門書としての「動画でわかる！小児の神経所見の取り方」制作（迅速審査）

- ◆ 申請者：久保田 雅也
- ◆ 申請の概要
小児の外来・救急・病棟のすべてにおいて、神経所見をとる機会があるが、「神経診察は難しい」という声があるのも確かである。これまで神経症候学は文章で詳述、あるいは限られた写真で示されたもののみであったが、今回は文章での記載よりも動画を豊富に使い「みてわかる」小児神経症候学をめざした。基本的な神経診察手技から異常な症候までまずみて体得することを主眼とし、文章による解説は最小限にとどめる本書は類書はない
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。
- ◆ 判定：承認

受付番号1941：妊娠中の免疫抑制剤使用が出生児のアレルギー疾患発症に与える影響についての研究（迅速審査）

- ◆ 申請者：河野 千慧
- ◆ 申請の概要
妊娠中に免疫抑制剤を使用した母体から出生した児の予後については明らかにされていない点も多い。本研究では、当院で妊娠出産管理を行った自己免疫性疾患女性を対象とし、母体の臨床情報を抽出するとともに児に関して日本語版 ISAAC（International Study of Asthma and Allergies in Childhood）の質問票等によりアレルギー疾患の発症についてアンケート調査を行い、得られた情報をもとに、免疫抑制剤の胎内曝露と児のアレルギー疾患の発症について解析を行う。
- ◆ 審議結果
上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認
受付番号 1951：小児患者用サリドマイド安全管理手順に関する研究（迅速審査）
◆ 申請者：河合 利尚 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1956：日常臨床診療下での治療を受けている血友病 A 及び B 患者（インヒビターの有無を問わない）を対象とした、前向き、国際共同、非介入試験（explorer™6）（迅速審査）
◆ 申請者：石黒 精 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1897：同種免疫性疾患と母体免疫細胞機能・代謝産物との関連解析（迅速審査）
◆ 申請者：佐々木 愛子 ◆ 申請の概要 同種免疫性疾患（血液型不適合妊娠，新生児ヘモクロマトーシス，同種免疫性胎児血小板減少症など）の合併妊婦と正常妊婦における，妊娠中の母体免疫細胞機能・胆汁酸分析の推移を測定し，正常妊娠時における各種細胞機能の推移と同種免疫性疾患発症（胎児臓器障害）時における推移との相違を調べます．子宮内で胎児に重篤な臓器障害を引き起こす原因となる同種免疫性疾患の妊娠経過中における母体免疫細胞機能と発症（胎児臓器障害）との関連を見出すことで，同種免疫性疾患のリスクの高い妊婦における早期の胎内発症診断や，妊娠中に行う免疫抑制治療の治療効果判定への応用を目指します． ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1943：X 染色体連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症（XLH）患者を対象としたアジア長期観察研究（SUNFLOWER-study）（迅速審査）
◆ 申請者：堀川 玲子 ◆ 申請の概要 X 染色体連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症（XLH）患者を最長 5 年間観察し、疾患の医学的な特徴および疾患経過、患者への身体・精神的な負担、経済的な負担を明らかにすること、疾患に対する治療の有効性、安全性を評価することを目的として実施する。実施地域は日本及び韓国であり、18 歳未満の患者については年に 1 回、18 歳以上の患者については 1・3・5 年次に規定の検査を行う。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1922：ニトロプルシドナトリウムの小児における急性心不全および高血圧性緊急症での使用実態調査（迅速審査）
◆ 申請者：鈴木 康之

◆ 申請の概要

日本小児麻酔学会および日本小児循環器学会がニトロプルシドナトリウムの小児における急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）および高血圧緊急症の適応拡大の公知申請したところ、厚生労働省より全国の小児での使用実態調査の実施依頼があった。そこで当院にて投与開始日が2017年1月1日～2017年12月31日の間にニトロプルシドナトリウムが投与された15歳未満の患者の年齢、性別、身長、体重、主たる疾患、投与理由、投与量、投与期間、希釈方法、併用薬、有効性、有害事象を調査する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1942：抗原特異的免疫療法の作用機序の解明（迅速審査）

◆ 申請者：森田 英明

◆ 申請の概要

近年、抗原特異的免疫療法は一部のアレルギー疾患において有効性が示されつつあるが、作用機序に関しては不明な部分も多い。本研究では、抗原特異的免疫療法における、「近年新たに発見された細胞を含む免疫細胞の役割を明らかにすることで、より効果的で安全な治療法の開発につなげることを目的とする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1957：本邦における肝移植後の微小血管障害症(TMA)の全国調査（迅速審査）

◆ 申請者：笠原 群生

◆ 申請の概要

血栓性微小血管障害症（thrombotic microangiopathy:TMA）は微小血管内に血小板血栓を生じて破壊されることにより血小板が減少し、さらに赤血球も破壊されて溶血性貧血を引き起こす病態である。原因は様々で、肝移植後にTMAを発症した場合の予後は極めて不良とされているが、一方で血漿交換やトロンボモジュリンを早めに開始することにより救命できた症例の報告もあるが症例数は少ない。今回の大規模調査で肝移植とTMAの関連性を明らかにする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1925：小児ランゲルハンス細胞組織球症患者のBRAF変異と臨床像および晩期合併症との関連性の検討（迅速審査）

◆ 申請者：塩田 曜子

◆ 申請の概要

日本LCH研究会によるJLSG-96およびJLSG-02に登録された、小児ランゲルハンス細胞組織球症（LCH）患者における、BRAF変異と臨床像および晩期合併症との関連性を明らかにする。長期フォローアップデータとBRAF変異との関連性を検討した報告は少なく、LCH患者の治療成績の向上と晩期合併症の低下に貢献するものと考えている。この研究結果はBRAF阻害剤のLCHへの臨床応用に向けた基礎情報となる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1932：妊娠中からの児のアレルギー発症予防ヘルスリテラシー教育プログラムの開発—パイロット研究—（一般審査）

◆ 申請者：山本 貴和子

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認め、かつ倫理的に妥当と判断し、承認する。
但し、以下の点について加筆・修正すること。

- ①文中の〈配偶者〉と〈パートナー〉をいずれかに統一すること。
- ②プログラムの人数について
最大40名と最大20名が混在しているので整理すること。
- ③アンケートの体裁（例えば、？をつけるかどうか、等）を統一すること。

◆ 判定：条件付承認（※修正確認は副委員長一任）

受付番号 1955：オプソクロノス・ミオクロノス症候群に対するリツキシマブ治療（一般審査）

◆ 申請者：久保田 雅也

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認め、かつ倫理的に妥当と判断し、承認する。
但し、以下の点について加筆・修正すること。

- ①医療行為の実施方法欄
リツキシマブ治療について、治療の経過を見ながら実施するので、プロトコール通りに行えない場合もあることを記載すること。
- ②手順の流れ図について
矢印（↑）の上の〈1時間〉を削除すること。

◆ 判定：条件付承認（※修正確認は副委員長一任）